

フィッシングショー OSAKA 2019

2月1日(金・業者日)、「フィッシングショー大阪」に、金森直治さん・平尾友美さんと3人で行ってきました。伊吹山周辺の高速道路では、チラホラ雪が舞っていましたが、大阪は全くの晴天。我々がインテックス大阪に着いた時には、立体駐車場が満員になるほど多くの釣り人が、入場しておられました。ホールに入った途端、熱気ムンムン! 256社・団体が3ヶ所に分かれ、目玉商品・売れ筋商品を展示台に並べ、売り込み説明に精を出しておられました。3時間ほどですべてのホールを見て回りましたが、すぐに使ってみたいサオやリールばかりが目につき、帰ってからの資金繰りに頭を悩ましそうです。もう一つの訪問目的である各社・各団体の窓口担当者への“挨拶回り”。こちらも、おかげさまで絶好調! 面談予定の担当者全員にお会いすることができました。



なお、今年の総入場者数は、59,636名(前年比3%アップ)とのこと。来年の予定は、2月7日(金・業者日)・8日・9日で、場所は、同じく“インテックス大阪”です。

京都浮世絵美術館 Kyoto Ukiyo-e Museum

「フィッシングショー大阪」の帰路、金森さんの提案で、四条寺町のキリハタビル2階にある「京都浮世絵博物館」に行ってきました。展示場は、想像していたよりは小さめでしたが、37点の浮世絵はすべて超の付く一級品ぞろい。久しぶりに本物を観ることができ、心が癒された感じがしました。この展示物は、全て館長個人の所有物とのこと。 “富嶽三十六景/山下白雨・凱風快晴・神奈川沖波裏” の3点の浮世絵を観ながら金森先生が「3点で一億円以上!!」と思わず呟かれたのが印象的でした。私の不手際で、担当学芸員様とはお会いできませんでしたが、2人の受付嬢の丁寧な対応で、大変充実した楽しい時間を過ごさせていただきました。



懐かしの “南座・祇園・八坂神社”

美術館から京都東ICへの道すがら、ふと右側をみると、見覚えのある白い建物が目に飛び込んできました。進行方向正面を見ると見覚えのある赤いトリーが。ということは、左側奥は祇園?!

3~6才までの疎開中、祇園の叔母の家に行くため、幾度となく歩いた四条通り。そういえば、ミドリちゃんという可愛い舞子さんが居たなあ…一瞬で、70年前にフラッシュバック。白い建物は“京都南座”赤いトリーは“八坂神社”です。遠い思い出からの一瞬の大きな感動をいただきました。